

<基本情報>

所在地：長崎県南島原市

<農場概要>

- 経営面積：約40ha（うち有機JAS認証ほ場 約70a（たまねぎ））
- 露地野菜・米等の会員32名による有機農業・特別栽培での生産、産地直送販売。



<有機農業に取り組むきっかけ>

- 前身の任意組合を設立した昭和50年代から化学肥料、化学合成農薬に頼らない農業を実践。平成5年（1993年）農事組合法人供給センター長崎を設立。
- 平成22年（2010年）に有機JAS認証を取得。

<販売について>

- 九州・近畿・関東方面中心に生協への出荷が約7割を占める。
- 会員間での栽培技術を統一し、販売先のニーズに合った多様な品目の導入、数量の確保が可能。
- 契約栽培により再生産可能な価格設定、通いコンテナの利用等によるコスト削減も行っている。

<収量・品質について>

- 有機栽培における長年の技術・経験を活かしながら、適性な品種選定を行い収量を向上。
- 使用する肥料を組織内で統一し、安定した品質を確保。



<病害虫対策・除草対策・土づくり>

- **病害虫対策**
たまねぎの苗床は、事前に太陽熱を利用した土壌消毒を実施。
- **雑草対策**
手作業による除草。
- **土づくり**
地域で発生する家畜糞尿等の資源を活用し、農家が堆肥を生産。春作収穫後、刈藪・刈草などの緑肥による土づくり。

<苦労しているところ>

- 会員（農家）はもちろん、集荷場での労働力の確保。輸送費が高騰しているが、消費者の有機農業への理解も薄れ、価格への転嫁が難しい。

<現場の課題>

- 農薬のドリフト防止のための緩衝帯設置、除草作業、周辺農家への有機農業に対する理解促進。輸送費高騰への対応、統一資材の一括購入によるコスト低減。

<今後の対応>

- 生き物調査、生物多様性を発揮した有機農業の啓発活動の実施。販売先の開拓、高品質と輸送効率のためのロットの確保。



【お問合せ先】TEL. 0957-87-2926

会社ホームページ <http://www.jaganosato.jp/>